

国東市第8期介護保険事業計画等の策定に向けた
国東市元気高齢者健やかサロン活動団体アンケート調査
【結果報告書】

令和2年8月

目次

I. 調査概要	… P 2
II. 国東市元気高齢者健やかサロン活動団体アンケート調査	
問1 サロンの活動内容について	
(1) お住まいの地域	… P 3
(2) サロン活動を開始したきっかけ	… P 4
(3) 活動の平均参加人数	… P 5
(4) 活動年数	… P 5
(5) 1ヶ月の平均活動回数	… P 6
(6) 主な活動内容	… P 7
— 体操を行う頻度	… P 8
— 体操を活動に取り入れたいか	… P 8
(7) 活動をしている中でよかったこと	… P 9
(8) 活動をしている中での困り	… P 10
(9) 参加者を増やす工夫	… P 11
(10) 地域の中でサロン活動を進めていくうえで必要な条件	… P 12
(11) 国東市や市社協に期待すること	… P 12
問2 活動交付金について	
(1) 活動交付金の主な支出内容	… P 13
(2) 研修等助成費の主な支出内容	… P 14
(3) 活動交付金のあり方についてのご意見・ご感想	… P 15
問3 介護予防事業についてのご意見・ご感想	… P 18

I. 調査概要

(1) 調査の目的

本調査は「第8期介護保健事業計画及び高齢者福祉計画」の策定に資するものであり、サロン団体の活動状況などを把握し、これからの介護予防施策の展開及び充実を図ることを目的としている。

(2) 調査対象者

元気高齢者健やかサロン活動団体（令和元年11月末時点） 219団体

(3) 調査方法と実施時期

調査方法：郵送配布、郵送回収

調査期間：令和元年12月11日～令和2年1月20日

(4) 回収結果

回収団体数	回収率
198	90.4%

(5) 報告書を見る際の注意点

○調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示しているため、その合計値が100%にならない場合がある。

○図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表す。

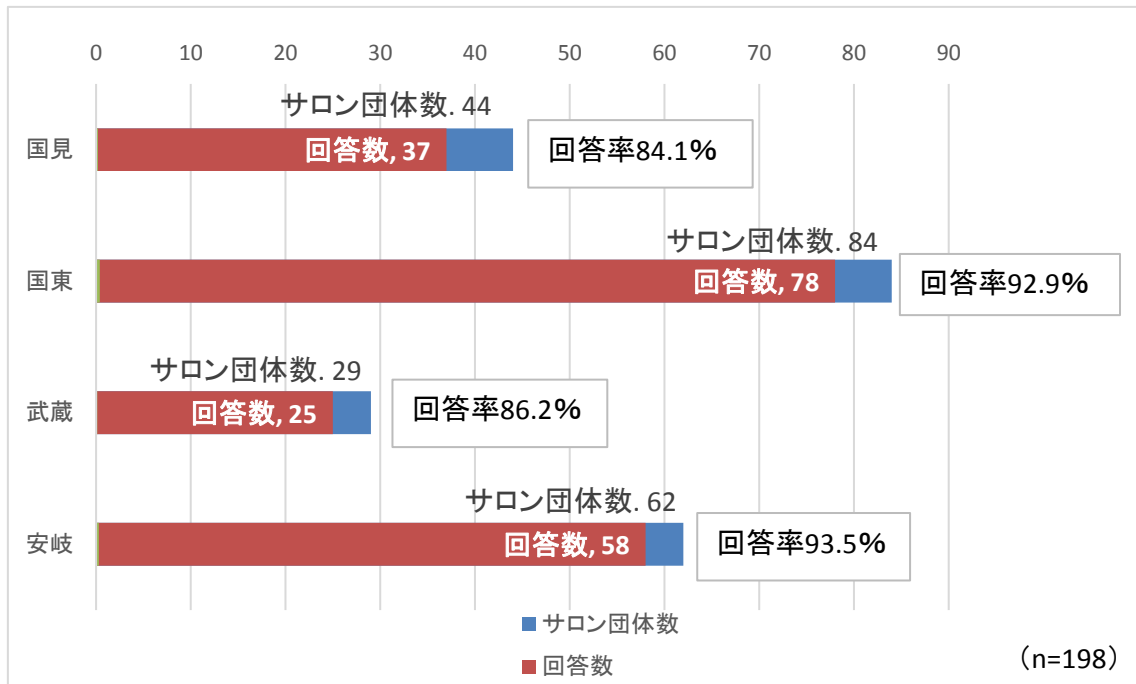
○複数回答の設問の場合、回答比率の合計は100%を超える場合がある。

Ⅱ. 国東市元気高齢者健やかサロン活動団体アンケート調査

問1 サロンの活動内容について

(1) お住まいの地域をお答えください(1つのみ)

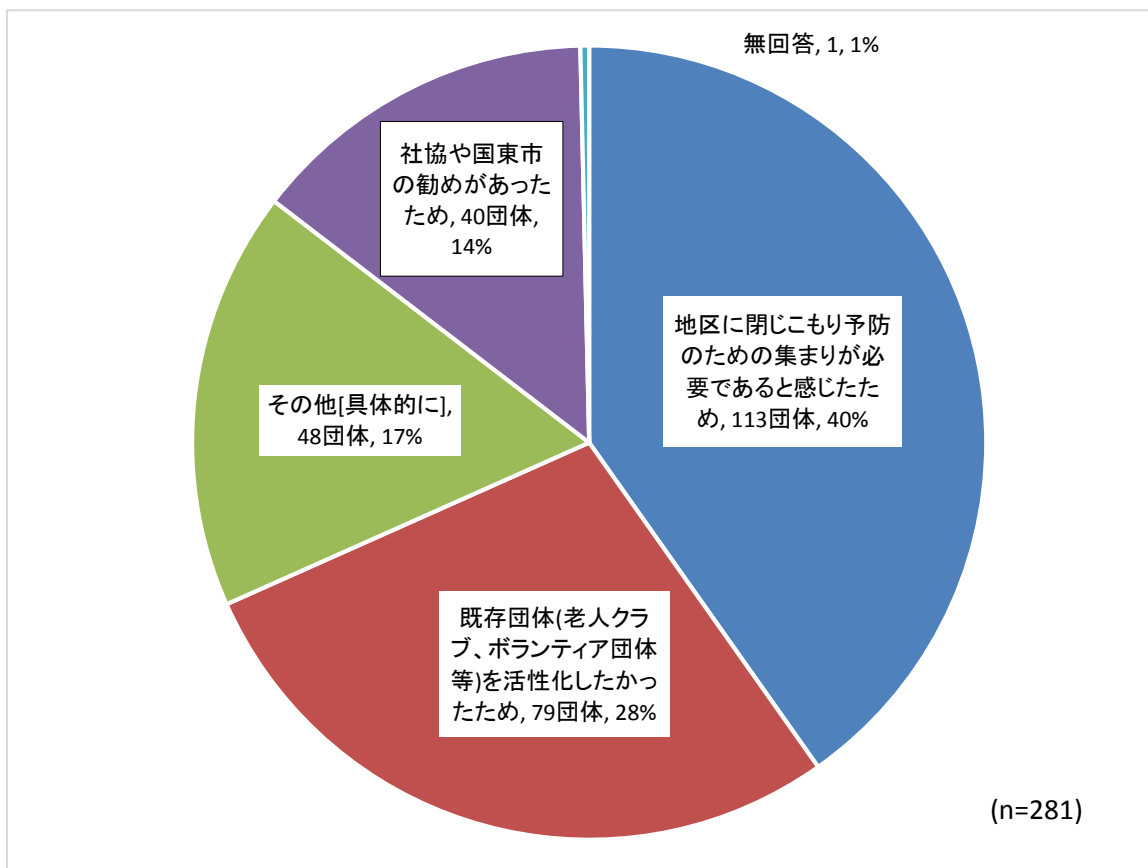
回答率は「安岐町」が最も多く、団体数に対し93.5%となっている。



(2) サロン活動を開始したきっかけについて教えてください
(複数回答可：2つまで)

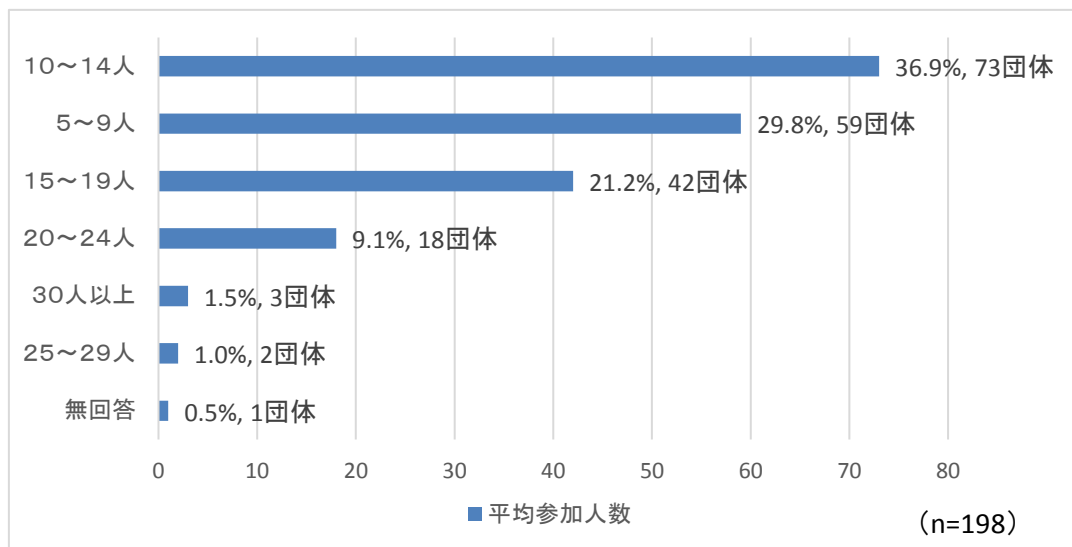
サロンを開始したきっかけは「地区に閉じこもり予防のための集まりが必要であると感じたため」が最も多く40%を占め、次いで「既存団体(老人クラブ、ボランティア団体等)を活性化しなかったため」が28%を占めている。

「その他」にあげられた事柄には、「前役員から引き継いだ」「地区の人／老人クラブ／区長／友人から勧められて」「保健推進委員の時勉強していく中でサロンを始めようと思った」等があった。(別紙1参照)



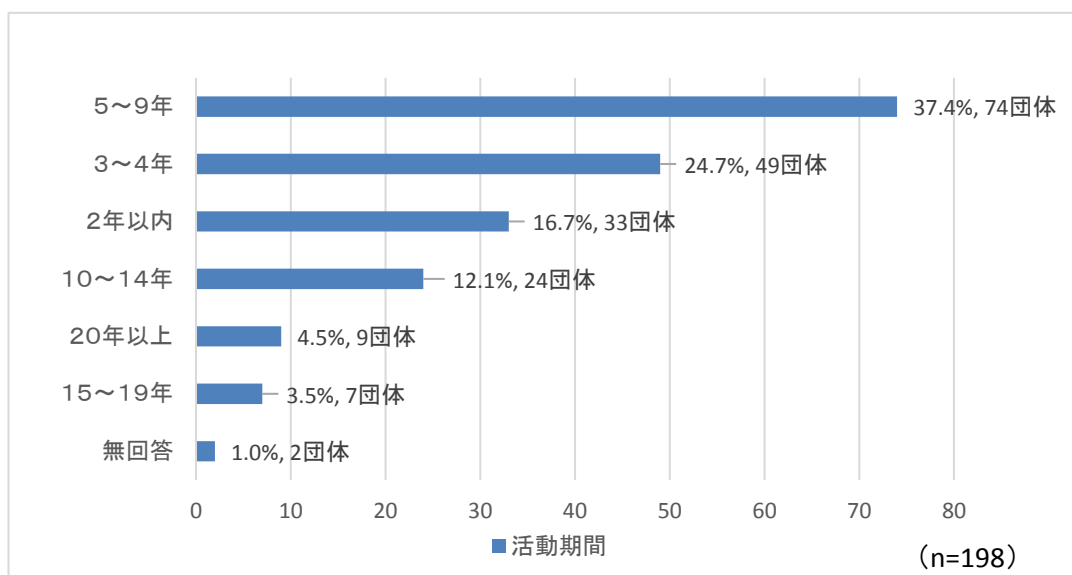
(3) 活動の平均参加人数を教えてください

活動の平均参加人数は「10～14人」が最も多く73団体で全体の36.9%を占めている。次いで「5～9人」が59団体で29.8%、「15～19人」が42団体で21.2%である。活動の平均参加人数が20名以上となっている団体は24団体で、全体の11.6%を占めている。



(4) サロン活動は何年続けていますか

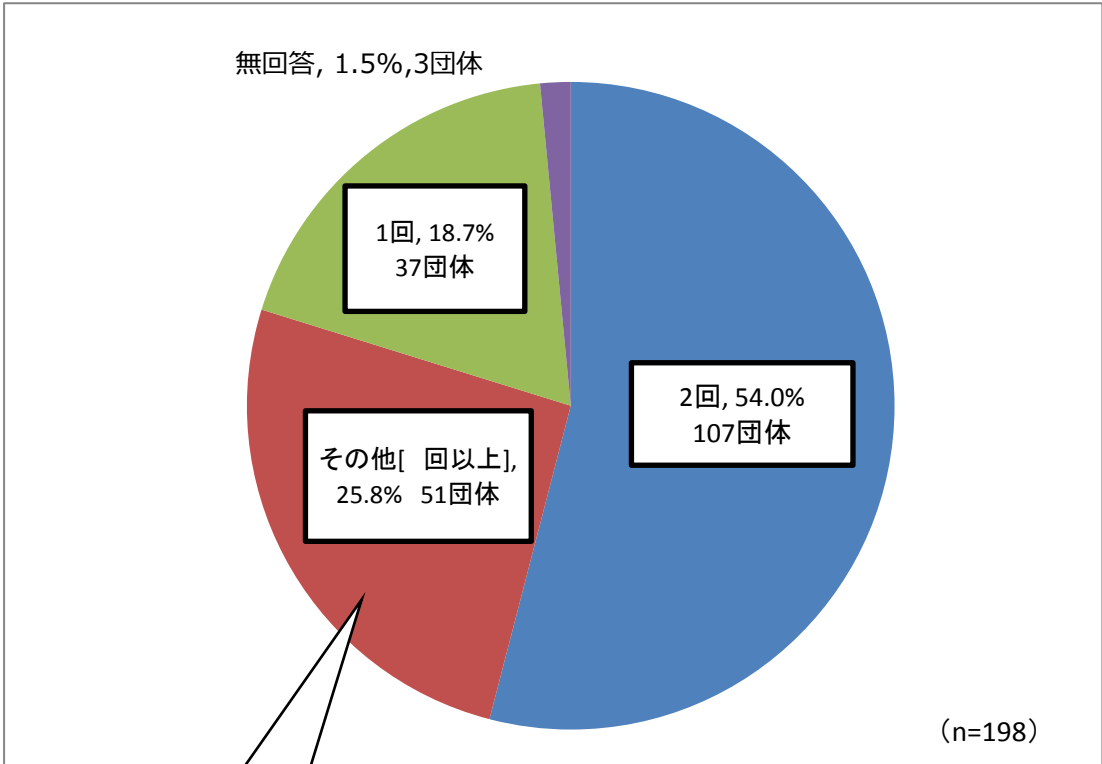
サロンの活動年数は「5～9年」が最も多く74団体で全体の37.4%を占めている。次いで「3～4年」が49団体で24.7%、「2年以内」が33団体で16.7%である。活動年数が10年以上となっている団体は40団体で、全体の20.1%を占めている。



(5) 1ヶ月に平均何回サロン活動を行っていますか

1ヶ月の平均活動回数は「2回以上」が最も多く107団体で全体の54.0%を占めている。次いで「その他 [回以上]」が51団体で25.8%、「1回」が37団体で18.7%である。

「その他」の内訳は「4回以上」が21団体で最も多く、「8回以上」が5団体、「3回以上」が4団体と続いている。4回以上を週に1回以上の活動と仮定した場合、週に1回以上活動している団体は合計で40団体となる。

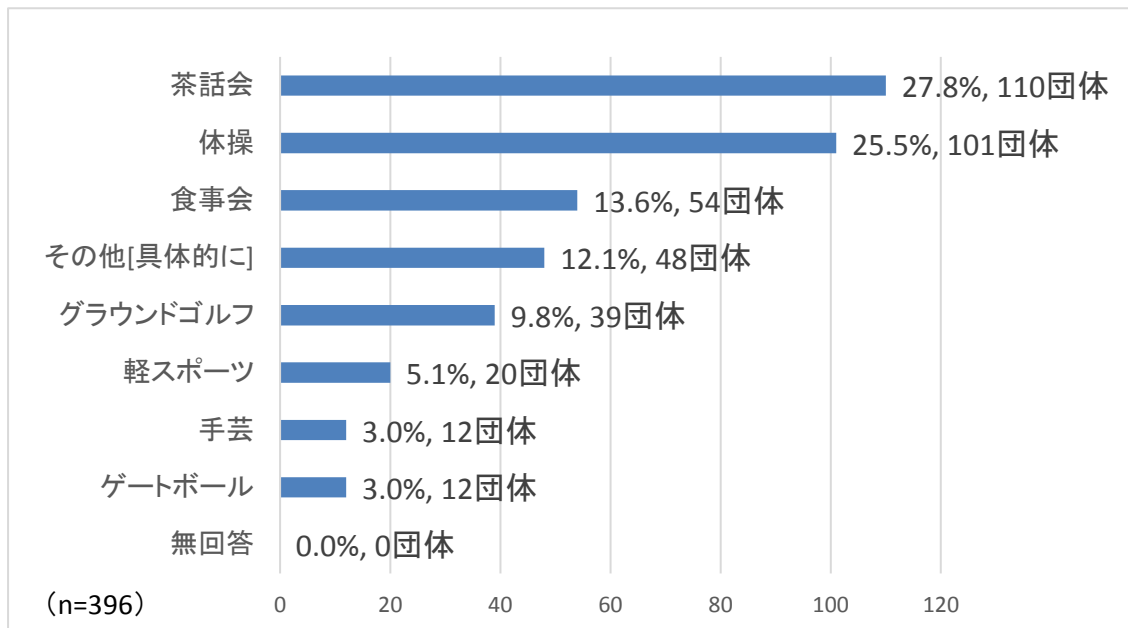


その他 [回以上]	団体数	その他 [回以上]	団体数
4回以上	21 団体	週1~2回	1 団体
8回以上	5 団体	9~10回以上	1 団体
3回以上	4 団体	16回以上	1 団体
10回以上	4 団体	7回以上	1 団体
6回以上	2 団体	5回以上	1 団体
1~2回	1 団体	プラス週一体操 月3回	1 団体
4~5回	1 団体	毎日と月2回以上	1 団体

(6) サロン活動の主な内容を教えてください(複数回答可:2つまで)

サロンの主な活動内容は「茶話会」が最も多く110団体で全体の27.8%を占めている。次いで「体操」が101団体で25.5%、「食事会」が54団体で13.6%を占めている。

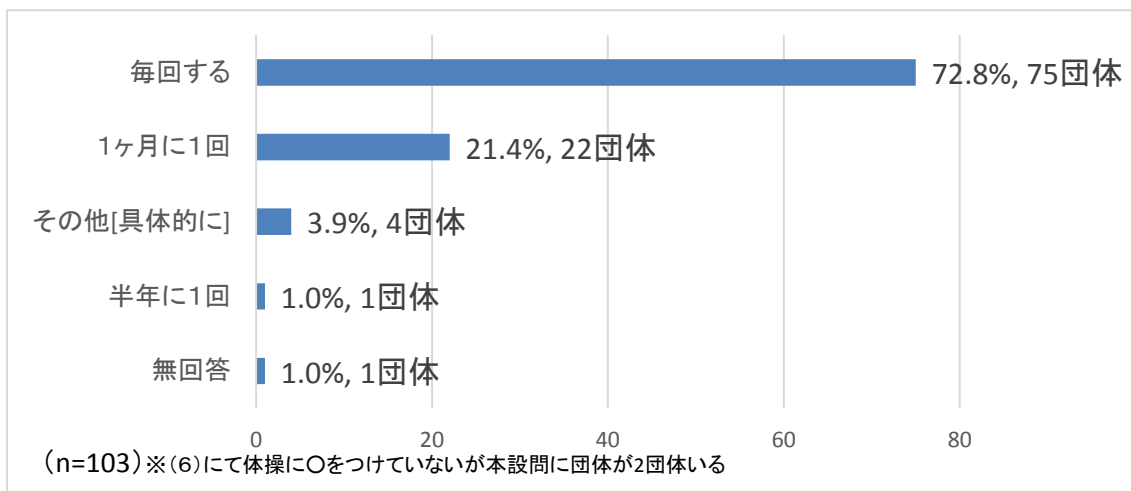
「その他」には「脳トレ、ゲーム、レクリエーション等」が17団体、「カラオケ」が7団体、「出前講座、講話」が6団体、「花壇の清掃」が5団体、等があげられている。(別紙1参照)



(6)で[3. 体操と回答した方]のみお答えください

①体操を行う頻度を教えてください

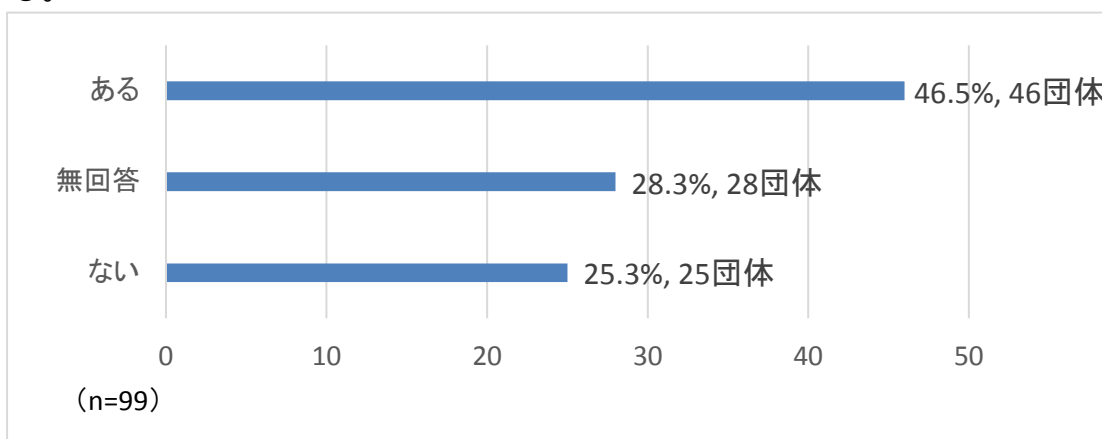
体操の頻度は「毎回する」が75団体で72.8%と最も多くを占めており、次いで「1ヶ月に1回」が22団体で21.4%、「その他」が4団体で3.9%を占めている。その他には「月に4~5回」「計画通りにいかなかった際臨時的に」「4~9月までは体操をする」等があげられている。



なお、「体操を毎回する」と回答した団体の中で、(5)の1ヶ月の平均活動回数を「月1回」と回答した団体は19団体、「月2回」と回答した団体は37団体、「それ以上」と回答した団体は18団体である。

(6)で[3. 体操以外回答した方]のみお答えください ①筋力向上・維持を目的とした体操を活動に取り入れたいという意向がありますか？

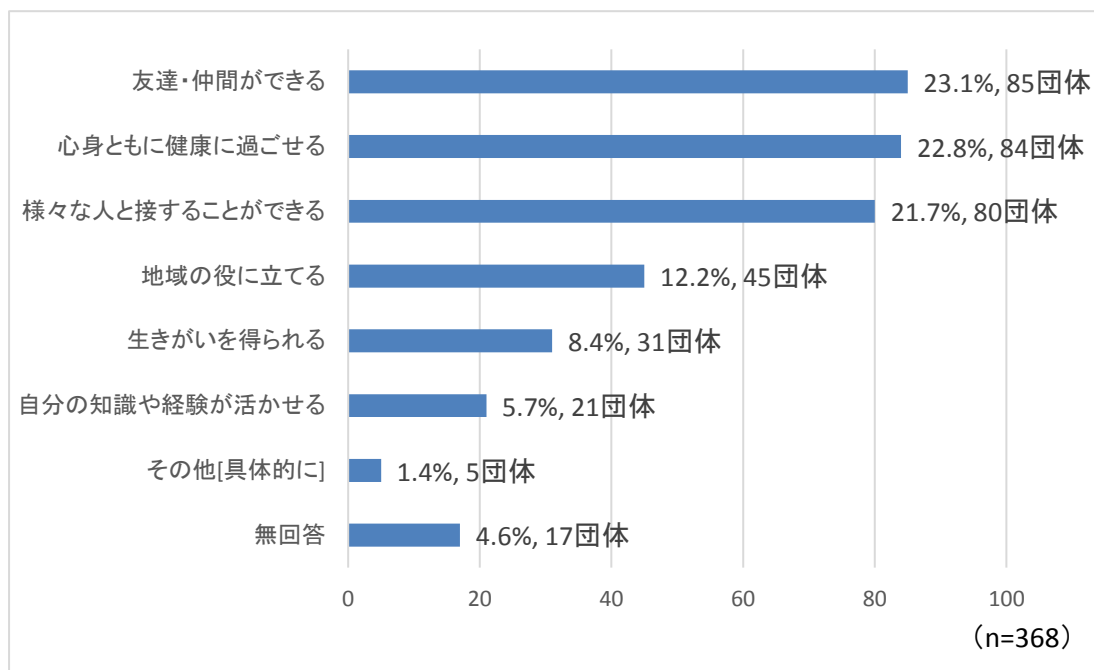
体操を取り入れたいという意向は「ある」が46団体で46.5%と最も多く、次いで「無回答」が28団体で28.3%、「ない」が25団体で25.3%を占めている。



(7) 現在活動をしている中でよかったことはなんですか
(複数回答可：2つまで)

活動している中でよかったことは「友達・仲間ができる」が最も多く 85 団体で全体の 23.1%を占めている。次いで「心身ともに健康に過ごせる」が 84 団体で 22.8%、「様々な人と接することができる」が 80 団体で 21.7%を占めている。

「その他」には「地域のコミュニケーションと連携を図る事」、「特に男性会員は調理の仕方等を覚えられる。会話を通じいろんな情報がはいる。」、「月1回でも集まって笑顔になれる事、声をだして笑える事かな。サロン支援者の協力が一番です」、「普段交流する機会がない高齢者と話をすることができた」、「普段余り外に出ない人が出てきてくれると嬉しく思う」があげられている。



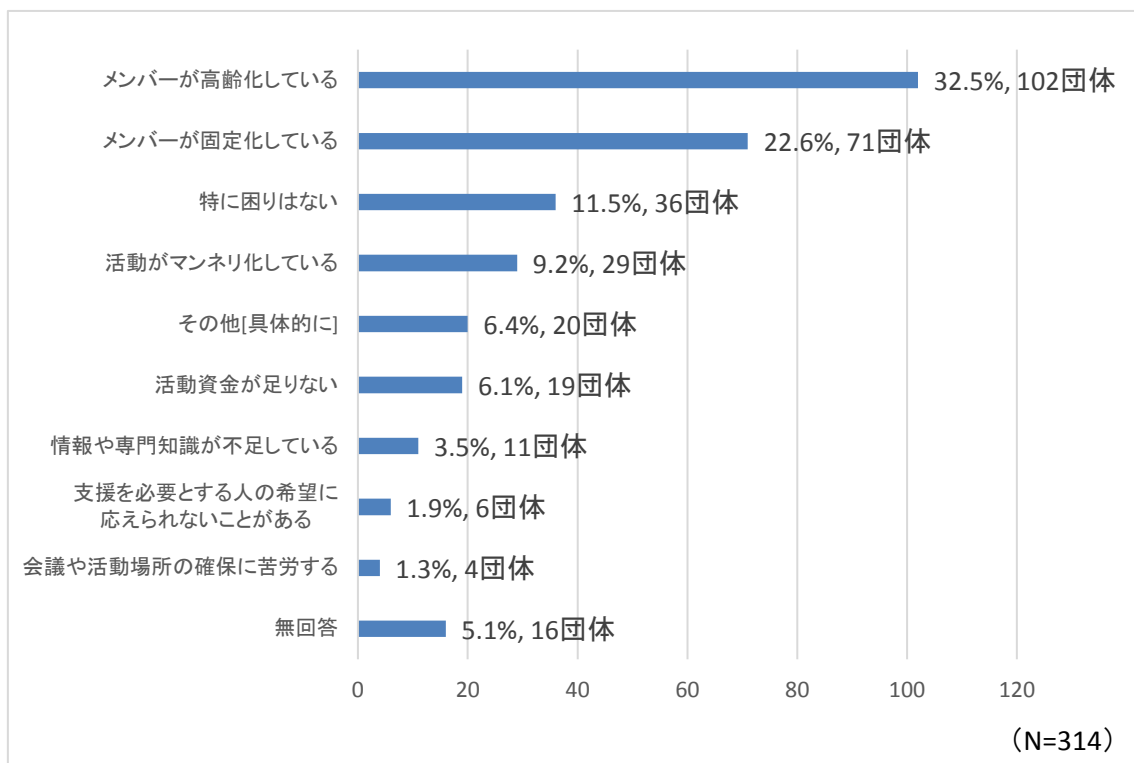
(8) 現在活動をしている中で困っていることはなんですか？

(複数回答可：2つまで)

活動している中で困っていることは「メンバーが高齢化している」が最も多く102団体で全体の32.5%を占めている。次いで「メンバーが固定化している」が71団体で22.6%、「特に困りはない」が36団体で11.5%を占めている。

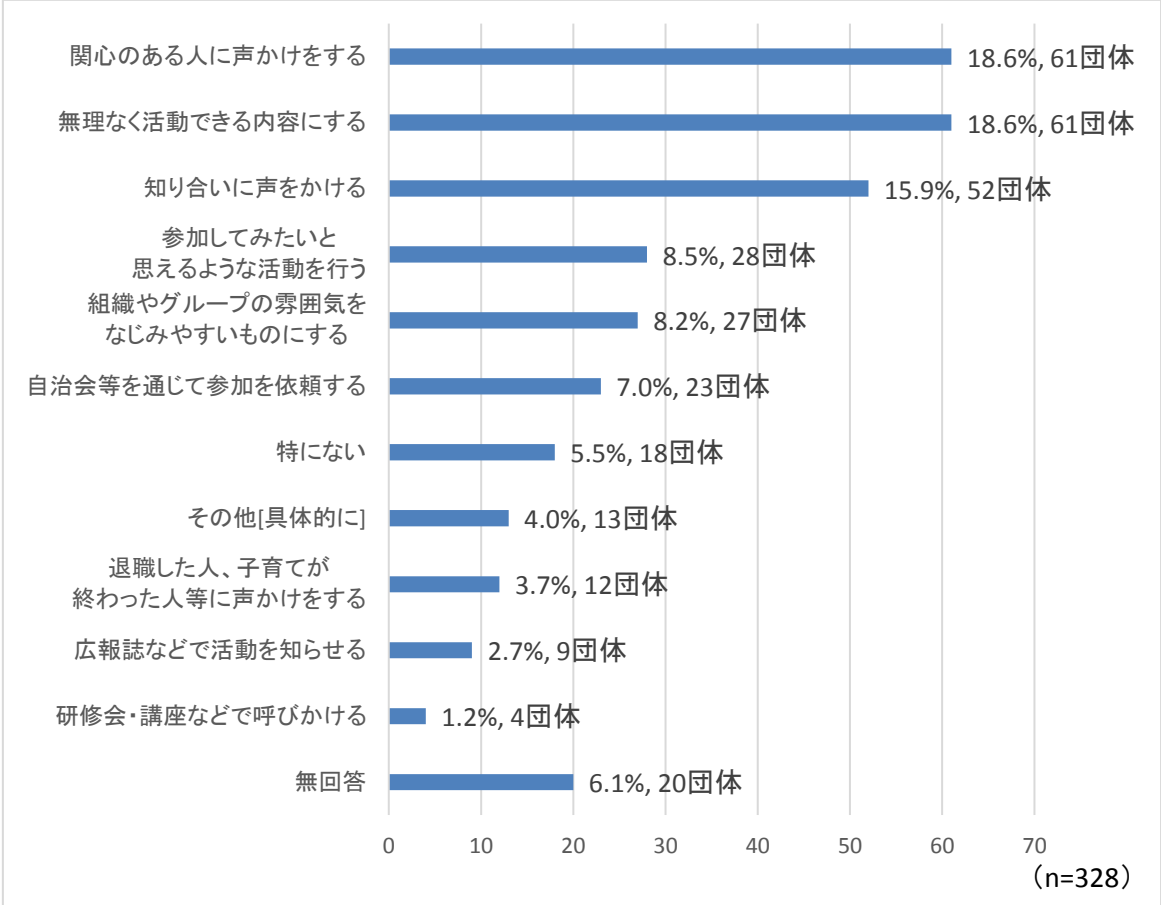
その他には「世話役（団体の事務を担う者）の不足」「送迎がなければ来る事ができない人への対応」「活動内容を考えること」等があげられている。

(別紙1参照)



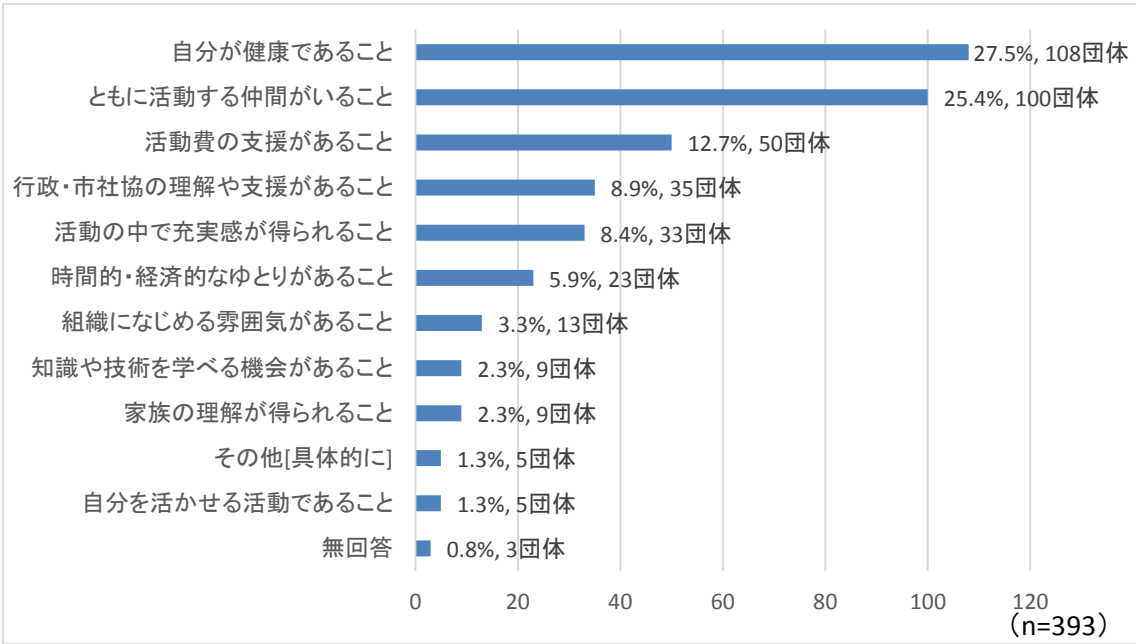
(9) 現在行っている参加者を増やす工夫があればお答えください
 (複数回答可：2つまで)

参加者を増やす工夫は「関心のある人に声かけをする」「無理なく活動できる内容にする」が同率で最も多く、61団体で全体の18.6%を占めている。次いで「知り合いに声をかける」が52団体で15.9%を占めている。



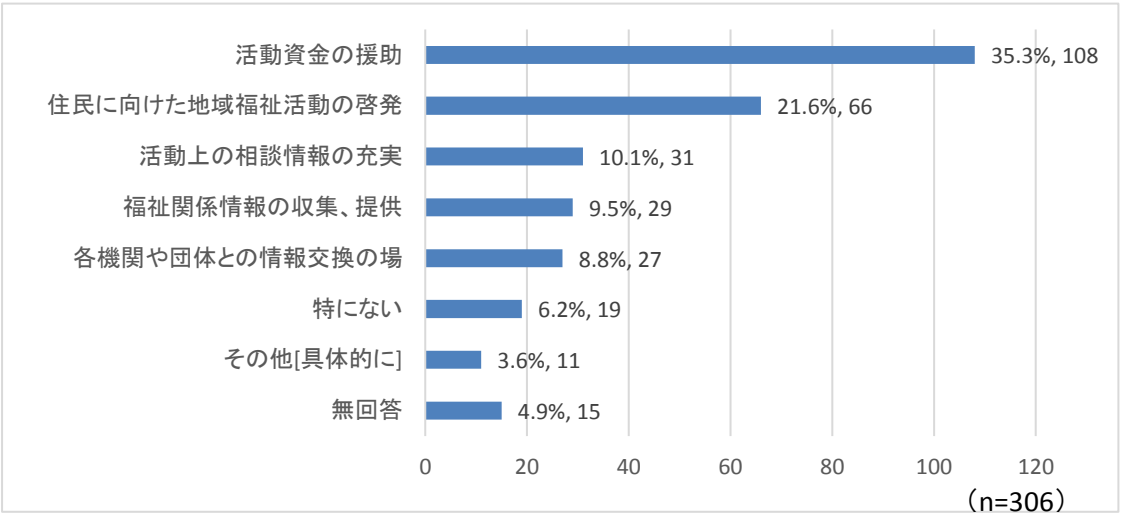
(10) 地域の中でサロン活動を進めていくうえで必要な条件はなんですか？
(複数回答可：2つまで)

サロン活動を進めていくうえで必要な条件は「自分が健康であること」が最も多く108団体で全体の27.5%を占めている。次いで「ともに活動する仲間がいること」が100団体で25.4%、「活動費の支援があること」が50団体で12.7%を占めている。



(11) 国東市や市社協に期待することはなんですか？
(複数回答可：2つまで)

国東市や市社協に期待することは「活動資金の援助」が最も多く108団体で全体の35.3%を占めている。次いで「住民に向けた地域福祉活動の啓発」が66団体で21.6%、「活動上の相談情報の充実」が31団体で10.1%を占めている。

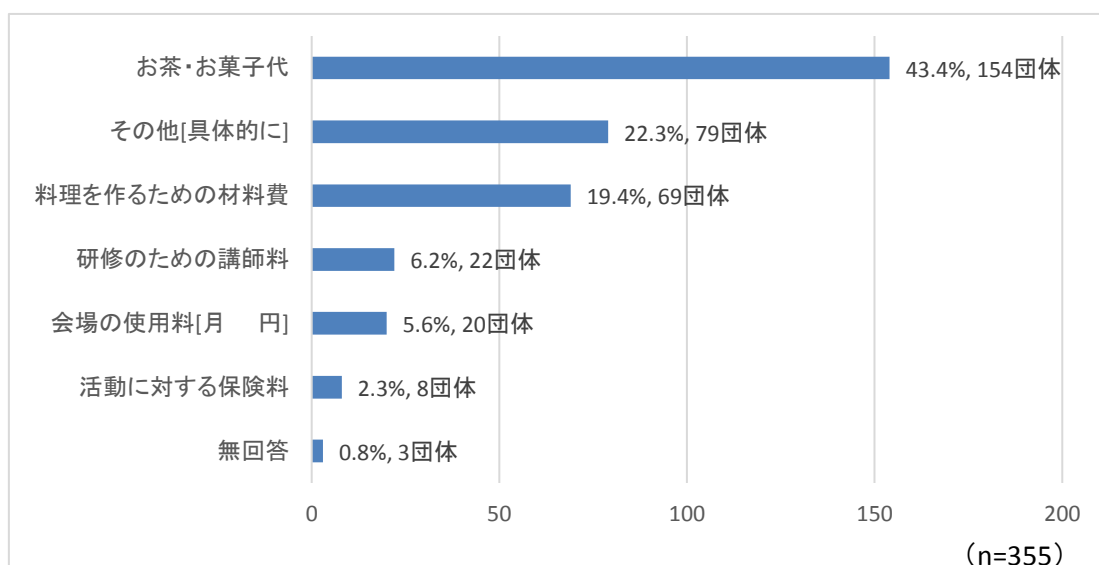


問2 活動交付金について

(1) 活動交付金の主な支出内容はなんですか？(複数回答可：2つまで)

活動交付金の主な支出内容は「お茶・お菓子代」が最も多く 154 団体で全体の 43.4%を占めている。次いで「その他」が 79 団体で 22.3%、「料理を作るための材料費」が 69 団体で 19.4%を占めている。

「その他」には「料理以外（趣味活動）の材料費」が 30 団体、「会食等の食事代」が 27 団体、「大会参加費・大会景品購入」が 13 団体、等があげられている（別紙1参照）



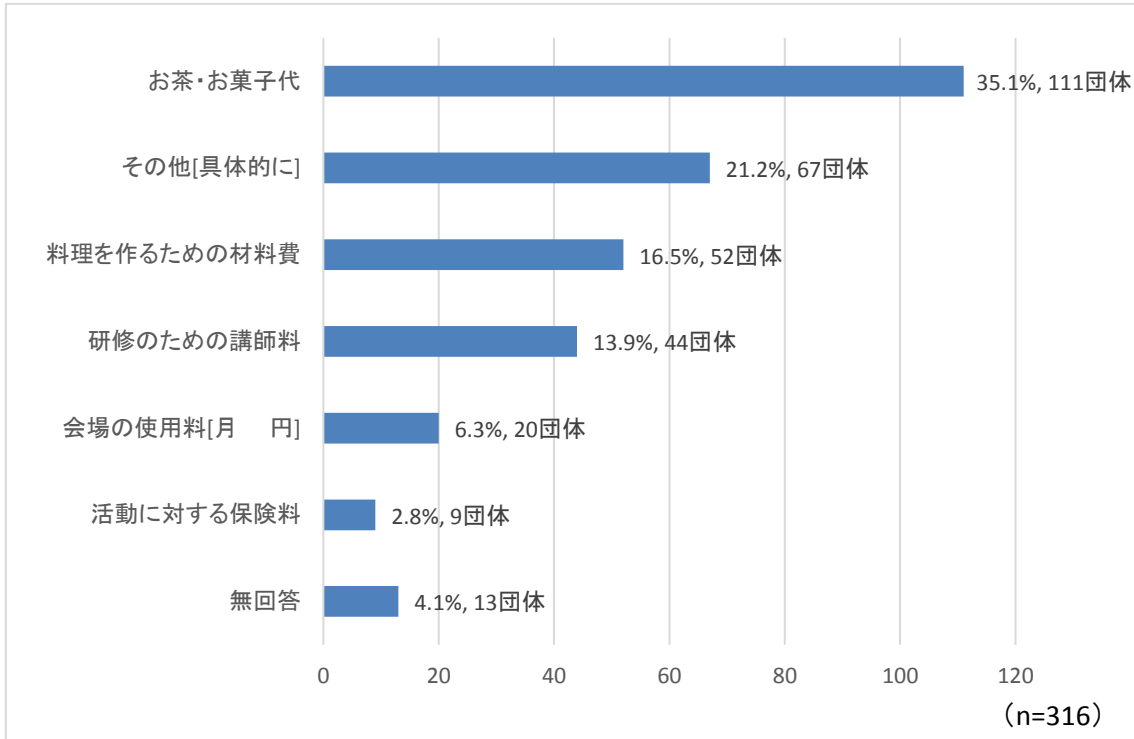
※会場の使用料、内訳

金額	団体数
1000 円/月	4 団体
500 円/月	3 団体
1,200 円/月	2 団体
10,000 円/年	1 団体
8,000 円/年	1 団体
2,000 円/月	1 団体
1,750 円/月	1 団体
1,500 円/月	1 団体
1 回 300 円×4 回=1,200 円/月	1 団体
500 円/月、料理作りをした時は 1,000 円/月	1 団体
500 円/人	1 団体
記入なし	1 団体

(2) 研修等助成費の主な支出内容はなんですか？(複数回答可：2つまで)

研修等助成費の主な支出内容は「お茶・お菓子代」が最も多く 111 団体で全体の 35.1%を占めている。次いで「その他」が 67 団体で 21.2%、「料理を作るための材料費」が 52 団体で 16.5%を占めている。

「その他」には「料理以外（趣味活動）の材料費」が 25 団体、「会食等の食事代」が 13 団体、「事務費」が 10 団体、等があげられている（別紙 1 参照）



※会場の使用料、内訳

金額	件数
1000 円/月	6 件
500 円/月	4 件
1,200 円/月	2 件
10,000 円/年	1 件
使用お願いした方へ数名 10,000 円位	1 件
2,000 円/月	1 件
200 円/月	1 件
500 円/1 回につき	1 件
500 円/人	1 件
880 円/月	1 件

(3) 活動交付金のあり方についてご意見やご感想をご自由にご記入ください

意見	課題
<p>【一律では不均衡ではないか、精査はしているのか】 24 団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動交付金はもちろんありがたいと存じますが参加者からも少々でも集める必要があると思う。 ・交付金を複数利用している人、車がなく利用できない人の差がある。元気な人は何個も利用していて、弱者が利用してない。 ・活動資金はありがたい。基本料と人数に比例しての額にしてもよいのではないのでしょうか。 ・活動交付金の算定基準(予算)が分からないので現状です。全体の福祉の高齢者対策割合(%)とか交付金の効果とか、介護予防に寄与していると思うが示されていない。 ・現行は参加人数が多いサロンの不公平感は否めないと感じております。一律十人数を加味した助成金が可能であれば一つの方法かと思えます。 ・現在の活動資金は人数の多少にかかわらず一律支給で分かりやすく良いと思えます。ただ多人数のグループは使い方が大変だと思います。 ・少人数のサロンは年 72,000 円の交付は多すぎるのではないかと思う。多くあるのは嬉しいですが、当地区では当時の区長が金になるのでやりと言って勧めたと聞いています。金になるサロン少し違和感を感じます。金になるからと言って勧めているようです。 ・活動するために最初に費用がかかる場合もあるので、一部始めるために必要な事もある。 ・我がサロン人数(16名)に対して以前のように一人頭で交付金がない分、世話役は手出し金は仕方ないのが現状です。やはり手作り料理をするからだと思います。しかし皆さんが食事を囲んでの会話が楽しい毎回言ってもらえる事が生きがいになっています。でも交付金詐欺的な人もいと聞きます。一人で運営し活動人数も仮、写真も不正、会計報告もなし。調査してほしいと思えます。 ・提出用の写真を撮るのを忘れて困っている。(運転できる人、写真を撮れる人が1~2名しかいなくて)サロンが必要な所に適当なリーダーがいなくても多いと思う。報告は今の程度で複雑にしないで下さい。世話人がなく組織が続かない事になります。 ・お金をいただいているので仕方ありませんが申請書が報告書作りが大変です。その活動の説明や支援に追われて写真を撮り忘れたことがありました。(文化祭の作品作りで一生懸命だったため)。写真がない場合は詳しく文章でとありますがやはり…。※週一体操後サロンをしている。内容は別々だが必ず体操をしている。 ・4月から6月までの活動費が7月下旬の入金なのでみなさん活動経費をどのようにしているのでしょうか。活動交付金なので仕方ないのかもしれませんが早くもらえると助かります。金額については現状で特に困っていないので良いです。研修助成金は講師料に使えて活動がマンネリ化せずに助かっています。 ・人数が多いとお菓子が駄菓子でおわる。金額が不足して運営できないとしたならば、参加費を貰うと会員・会員でないになってしまうので貰えない。5人以上でも30人以上でも金額が同じだと大変。せめて10人以上の参加の時は少しでも支援金をふやしてはどうだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加人数に関係なく交付金額が一律であることによって不公平感が生じており解消する必要がある。 ・運営資源の確保に対する支援が求められている。 ・地域活動の中心的な担い手の負担が大きい。 ・報告方法の見直しが必要である。 ⇒精査ができているのかという観点から ⇒簡素化はできないのかという観点から

- ・ 1回2,500円ではなく1人200円で参加人数の方が助かります。
 - ・ 活動内容によって交付金の差をつけた方が良いのでは？
 - ・ 老人クラブの中のサロン活動とと思っている人がいるように思います。活動交付金をもらうにはルールを守りちゃんと活動していく必要があると思います。
 - ・ 参加人数が異なっても金が金額は一定というのは不合理ではないでしょうか。基本的な金額+参加人数+金額にした方がいいと思います。
 - ・ 1人の人で3ヵ所入ってる人がいますが5人以上集まればいいからと交付金だけをもたらえればという考えの人があるみたいだけど、こんなことで続くのかと心配しています。
 - ・ 1日に午前と午後違う行事（例えば午前草刈り、午後食事会等）は参加者、人数も違う場合もあり別々の回数・行事としてカウントすべきと思う。
 - ・ 1回につき2,500円は会員数に応じたものにしてほしい。会員数28名のサロンで2,500円×2=5,000円は不足。毎週（月4回）の健康体操を実施しているが指導員の謝礼ができない（謝礼は求められてはいない）
 - ・ 以前は出席者一人につき400円の交付金でしたのでお料理等もし易かったのですが1回2,500円だと大人数での活動では足りなくて活動方法を考えなおさなければなりません。会員のお年寄りが月2回楽しみに足を運んでもらうには魅力のある会にしなければと努力をする積りでいます。サロン数も多くなり市の方も大変と思いますので何とか現状で頑張りたいと思います。
 - ・ 以前は1人〇〇円という交付金でなかったかと思います。今は参加人数が多くても決められた人数であれば一律です。今のところは参加者が多いので交付金のみでは足りず参加者に負担してもらっています。この負担金も参加してくださる方より「出します、出させて下さい」というありがたい申し出がありまして参加費としてもらうようになりました。交付金と参加者からの負担金で運営し、1年ごとに会計報告して了解してもらっています。こうした活動をしているところもあると知っていただき、交付金のあり方について考えてもらいたいです。
 - ・ 現在は5名以上あれば2,500円となっていますが、我々のように20名程度になると事務・管理が負担大で犠牲的精神、奉仕が必要・要求されます。それがないと継続できない現状があります。役員の負担が大きいという事です。
 - ・ 一律にいただけるのは大変ありがたいが、活動内容や出席人数によっては高額すぎたり不足したりするのではないか。（個人的には多いと思う。）今回のアンケート(11)-7に書いたが活動交付金を少なくして関係職員を増やし活動の充実、向上に使用してほしい。※お金をくれるからするのではなく、自分のため喜んでくれる人がいる限り続けたい。
- 【役員の負担、金額の見直し】15団体**
- ・ 活動交付金が少し少ないように思う。
 - ・ 現在の1回につき2,500円を3,500円に増額してもらいたい。（活動の範囲が広がる）
 - ・ 活動交付金の制度有難く思いますが、年々支給額が削減されているのが不安です。年金生活も厳しい今日健康で今生活している事に感謝し日々過ごしています。今後共宜しくお願いします。
 - ・ 1回の交付金2,500円お茶代でなくなります。20~24名なので料理・折紙等の材料代と写真代で手出しを刷ることが時々あります。（電話代・コピー）

・サロンの内容についてはもう少しやわらかく大目にしてください。例えば、何々が写っているとかいないとか、同じ服装ではないとか、だれだれが同じ服を着ているとか、そんな事はどうでもよい事ではないのかな。

・大人数のところでは手出しがある。・高齢化とともに交付金の申請等の事務処理が大変になるのでは

・現在参加者には年会費 1,000 円を集めており、補助金に加えて運営しています。年に、できれば 2~3 回近くに食べに行ったりゲームの景品を買ったり(花見)弁当をとったりして楽しい事も盛り込みたいと思うのでほんの少しでも増やしてもらえるとありがたいです。

・内容を充実させようとする 3,000 円以上にすると、交付金を増やしてもらいたい。

・減額することなくいつでも交付していただきたい。

・食事を作る為、交付金は足りないので参加者に 300 円ずつ頂いています。

・現在の制度を今後とも継続してほしい。できれば交付金の増額を。

・以前はお茶・食事会とも人数によって資金がでていました。最近では 1 回に 2,500 円、2 回で 5,000 円/月なので、不足分は個人負担で行っている。

・サロンの仲間が増えると会費でやりくりするのは限界があると思います。年 1 回食事会で出しますが(現在 13 名)増えると手出しをしないとイケないと思います。手料理でもよいのですが皆の意見としては外に食べに行くことを楽しみにしています。

・活動交付金を増額してもらいたい @2,500 円 → @5,000 円

・大変うれしく思っていますが、節約と手出しが多いです。なかなかリーダーになってくれる人がいません。

【交付金以外の困り】5 団体

・何にでも使えるのは良いのですが、おしゃべり・茶話会だけでは糖尿病が気になります。チェック方法はいかがでしょう？リーダーの勉強が必要では？

・役所にいくたびに係りの人がかわっていて困ります。

・公募すれば会員が増えるかもしれませんが、現在料理をするのは女性 2 人でしているし 1 人は 86 歳です。男性が増えると 2 人では作れなくなるし、茶話会だけになると参加しなくなる人が出るのではとの心配もあり現会員の維持が一番良いのでは？と思っています。現在は全員楽しいみたいで長時間いてくれます。

・活動交付金とは関係ありませんが、サロン活動をしていく上で絶対数が少なく代表になる人を探すのが困難な状況ですので存続が危ぶまれます。

・私たちのサロンでは高齢者がだんだん少なくなって若い数が増えないので(まだ仕事をしていたり田畑を作っていたりで加入してもらえないみたいです。)どうしても人数が少ないので会を持ってない。月に 1 回するのが多くなった。家にいつけたら出掛けるのが面倒くさくて外に出づらい。

【肯定意見・現状報告】別紙 1 61 団体

問3 介護予防事業についてご意見やご感想をご自由にご記入ください

意見	課題
<p>【介護予防に関する周知が十分でない】9団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この事業について行政が熱心に取り組んでいることは感謝したいと思います。自分も大事なことを思い、地域に定着させる努力をしていますが、小さな集落で対象者も限られる中でなかなかこの活動の意義を自分の事として受け止めてなく、もう一つ積極性がないのが残念です。あまり必要性を今感じてないようです。世話をする方としては今一つモチベーションがあがりません。多少マンネリになっています。 ・自分自身、現在大変健康であるため介護予防事業自体の内容があまりわかりません。 ・私たちの年代層が割と若い方ではと思いますが(50歳~80歳1人)現実の話は“会議予防”になります。今後は活用したく思いますが市の一覧表のみでもっと情報が知りたいです。でもまだサロンを立ち上げたばかりなので徐々に活用して予防につなげたいと思っています。 ・介護予防事業について知識がないので詳しく教えてください。(介護保険事業)とり入れ方、種類などまだまだ分からない事ばかりです。 ・介護予防メニューの一覧表をもらっているけど時々ケーブルでも流したらと思う。 ・今後も介護についての話を聞きたいと思っている。 ・サロンが介護予防と思っている人はいるのでしょうか？ただ仲間を作って楽しい会だと思っっている人が多いと思うのですが。もっと「サロン」に対して説明が必要だと思っいます。たまには地区のサロンを見学されたらどうですか、色々と見えてくるものがあるかと思っいます。本当に介護予防が必要と思っのなら区長さん民生委員さんなどの人達にサロンの事を説明し必要性を考慮してもらっはどうでしょうか。 ・皆さん仕事をしている人が多く、65歳以上でも仕事をしている人が多い。仕事が終り自宅家族の食事準備して運動に来ている人がいます。中高齢で仕事している人は夜しか運動に参加する事ができない人もいます。若い時からの介護予防が必要だと思っいます。 ・介護予防に関する研修会や講演等にもっと参加したいけど、日時が合わない事がありなかなか出席できない。 ・介護予防法・活動について資料等がいただきたい。 ・サロン活動が介護予防に大変役立っっていると思っいます。お互いに協力してっいます。情報がほしいと思っいます。 <p>【ノウハウの提供・共有、情報交換の場の設定】6団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サロンでは毎回体操を行い介護予防になればと思っっている。誰もが高齢になっっていく中で介護予防事業は大切な事。社協でもサロン参加者の講話などあつたらいいかなと思っう。(同じ地区のサロンを集めてとか) ・社協の方が年1回でもいいですからサロンにこられてお話しや体操をしていただき、茶話会にも参加していただいたらいいなあとと思っいます。お忙しいこととは思っっています。 ・いきいきちよるちよる体操のようにリズムカルに無理のないような体を動かすことができる体操曲があつたらいいなあとと思っいます。 ・サロン活動はとっても良い事業です。交付金をいつまでも交付していただきたい。活動が 	<ul style="list-style-type: none"> ・取組成果・効果が認識されておっり拡大・普及の促進が必要である一方、介護予防の重要性や市の取組みにつっいての周知が十分でない現状があり、周知が求めらっれている。 ・ノウハウを共有する機会や情報交換の場の設定等支援が求めらっれている。 ・移動支援の必要性 ・地域活動の中心的な担い手の負担が大きく、成り手がいない。 ・運営資源の確保に対する支援が求めらっれている ・介護保険サービスも含めた包括的な孤立防止の推進が求めらっれている

マナー化して飽きられないようアイデアや新しいゲームを教えてください。

・1. 閉じこもりの方に対する取り組みを。2. 健康寿命を伸ばすための対応。講話も大事だが体を動かしての研修、体力テストの実施

・地域で企画推進中のカフェ？の実現を期待しています。(ライフサロンきずな 宮永公子)

【送迎・移動支援】3団体

・サロンに行きたいが足が不安で今は私の車に乗せています。皆さんの中に入りたいのですが…一人暮らしです。どうしたらよいでしょうか？若い人が働いているので、高齢の人が支えるので大変です。

・独居高齢者を中心に月1回でもまず集まって話をするという事から始まった会であるが、段々と高齢化が進み集まれなくなっていったのも事実である。歌う会や、ぶらり散歩会など特色ある催しなども効果的なのかもしれない。気軽に参加できる方法(例えば送迎車など)。とりとめのない事を書きました。ますます高齢化が進んでいく中で介護予防は切実な問題だと実感しています。

・月1~2回のサロン活動を皆さん喜んでます。高齢者が多いため地区公民館に行くのもしんどい方が出始め、交通支援が必要な時期にボチボチなり始めたかと思えます。みなさんと協議しています。

【世話人負担・成り手不足】5団体

・立ち上げても世話人だけに負担がかかるので取組ができない。

・会員が高齢化しリーダーのなりてがない。

・サロン活動は高齢者の方が楽しみにしてくださり集まってくれますが(固定はしていますが)、その世話をする60代・70代の方が少ないのが悩みです。60代・70代の方はまだ仕事をしている方が多く係を気めるのが毎年大変です。無料の講座案内がとても役に立ちます。市役所の方、市民病院の方、地域おこし協力隊の方の方など講評でした。ありがとうございました

・ボランティアで長期に続けることは大変な事です。仲間がいることで続けていますが、高齢化することで今後が不安です。

・当地区ではサロンを継続するのが精一杯です。

【参加者の減少】3団体

・サロン入会の会員が増えるような働きかけの場になるような協力がほしい。

・各行事に参加人数を増やす(交付金要件5人以上)為に声掛けを積極的にして引き籠り孤立を防ぎ健康で医者いらずの人生(高齢化と人口減少から参加者を増やす努力)

・高齢者は人との交わりを面倒と思うのか、消極的である。

【交付金関係：不公平感、使い道】2団体

・5人でも72,000円、20人以上でも72,000円あまりにも差がある。少人数のところは(他の人は)いけないという現象が起こるのではないのでしょうか。

・私共のサロンでは比較的弱年の高齢者が多くを占めているため、時間的な“ゆとり”はありません。出てきてほしい(皆と会って話をするだけでも楽しいと言っていますが)高齢者の参加は年間の参加回数が少なく誰のために催しているのかなあーと思う事もあります。月何千円と払っている保険料が元気な高齢者の茶菓子代に使われているのかと思う

と合点いかない気持ちが少しあります。

【孤立防止の推進】4 団体

- ・地域だけでは支えきれないスレスレの人たちへの手立ての方法や協力を公共機関からしていただきたい。
- ・サロン参加が出来なくなった人で在宅者への地域活動の方策とか(医療・介護保険での対応しかできないだろう?)サロンの動向とか地域の動向とか、家族介護に頼るしかないのかな?⇔高齢者支援室で支援していると思うが。
- ・みなさん老後の事を心配しています。なかなか老人ホームにも入れないし家では見てくれる人もないので動けなくなったらと心配です。
- ・家庭で介護できるようなシステムを考えてもらいたい<在宅介護>

【その他】4 団体

- ・この「サロン活動」や「さ吉くんで元気!健康チャレンジ」等、団体や個人まかせにしていると感じている。市や社協の職員が(常時)(定期的)にかかわった介護予防事業を町単位や区単位で計画実施してほしい。その際、体力や健康状態に応じたプログラムと状況によっては送迎を希望する。健康に関する講演会の案内もいただくが路線バス利用では時間的に無理なので送迎があるとよい。(昨年度は何回開催し、参加状況はどうだったのか?)。このアンケートについて…①回収方法=12月までの報告書と一緒に提出すると返信用封筒の準備や切手代・開封の手間が省ける上、100%回収ができる。(サロン名の記入欄がないのは意味があるのでしょうか?)②回収月日=4月からのサロンの執行に利用するのであれば「大変だろうなあ」「無理かな」と思ってしまう。令和3年度からの資料にするとその事なので納得していますが、できるところからよろしくお願いします。
- ・武蔵にもあるトレーニングジムのような施設を国見にも作ってほしいです。意欲のある人はどんどん利用できるように専門知識をもったスタッフを置き、楽しく運動できるように指導をお願いしたい。
- ・活動上することが多すぎる(地区活動を含む)
- ・スポーツなので予防しているのか、もしケガをしたら介護を深めるような事があつたらと思います。

【肯定的意見・現状報告】37 団体 (別紙1)